

# 活動実績 (2023年6月～11月)

- 【地域活動】
- 水辺の植生再生活動：
    - ・北岸：6/10(土), 8/19(土), 10/21(土)
    - ・南岸：7/15(土), 9/23(土), 11/18(土)
  - 水辺講座：小禄南児童クラブ 8/10(木)
  - 国場川ごみゼロ作戦
    - ・自然であそぼ！子どもの居場所プロジェクト：6/17(土), 7/27(木), 8/23(水), 10/14(土)
  - 調査発見型環境学習プログラム開発・提供：生物調査計画 10/30(月), 生物調査 11/21(火)

- 団体受入
  - ・修学旅行受入：6/6(火), 10/4(水), 10/17(火), 10/18(水), 11/1(水)
  - ・トヨタ・シャルフェイス：7/8(土), 11/4(土)
  - ・琉球大学エコチル 2023 夏休み親子体験：8/13(日)
  - ・NEC マジメイト -トナ-：10/28(土)
- 出前講座
  - ・レキオ・ウイングス：6/15(木)
  - ・かりゆし長寿大学校：10/12(木)
  - ・沖縄大学糸数先生：10/13(金)
  - ・沖縄大学島村先生：11/8(水)

- NAHA SDGs シンポジウム：11/11(土)
  - サガリバナ観賞会：国場集落 6/29(木), 末吉公園 7/9(日), 10(月)
  - イベント出展
    - ・県民環境フェア in なは：11/5(日)
    - ・おきなわ国際協力・交流フェスティバル：11/25(土)
  - インターン受入：11/1(水)～2/9(金)
- 【国際協力】
- 受託事業
    - ・JICA 研修員受入事業：課題別研修「持続可能な観光資源・開発(自然資源)(B)」：10/10(火)～11/10(金)

# 活動予定 (2023年12月～2024年5月)

- 【地域活動】
- 水辺の植生再生活動：北岸 or 南岸で毎月開催予定
  - 国場川ごみゼロ作戦
    - ・教材配布、教材体験を予定
  - 調査発見型環境学習プログラム開発・提供：漫湖いきものデータベースサイトプロトタイプづくり、プログラム開発

- 団体受入
  - ・修学旅行受入：12/2(土), 12/4(月), 12/15(金)
- 出前講座：随時受付・実施
- サガリバナ観賞会
  - ・クラウドファンディングで地域主体のライトアップ実施体制づくり
- 地域主体の赤土等汚濁対策活動支援：

- 名護市、金武町、宜野座村
- 【国際協力】
- 受託事業
    - ・JICA 研修員受入事業：課題別研修「地域資源を活用した商品ブランディング・マーケティング(B)」：1/22(月)～2/16(金)

# イベント出展アルバム

県民環境フェア  
@サンエー那覇メインプレイス

JICA 国際協力・交流フェスティバル  
@ JICA 沖縄センター

# お知らせ

## 会員・ボランティア募集 達人デリバリー (出前講座) ミライへ・プロジェクト (団体受入)

- ・入会申し込みはホームページから
  - ・緑化活動をお手伝いして下さるボランティアを随時募集しております。お気軽にお問い合わせください。
- TEL 098-833-9493  
メール gyomu@npo-oec.com

特定非営利活動法人  
**おきなわ環境クラブ**

〒902-0075  
沖縄県那覇市宇国場 370 番地 307 号室  
TEL 098-833-9493  
FAX 098-833-9473  
ホームページ  
npo-oec.com  
e-mail kokuba@npo-oec.com  
SNS: facebook Instagram



木の実の色つけ体験



自然素材のグッズ販売



親子で集中



木の実の色つけ体験の作品とポーズ



# OEC ニュースレター

～自然と環境の保全是足元から！～  
特定非営利活動法人おきなわ環境クラブ (OEC)

vol. 41

2023年12月発行

## 目次

- [1面]
- ・子どもの居場所× OEC
  - ・OEC の SDGs 活動メニュー
- [2面]
- ・身近な自然体験プログラム
  - ・サポーターの声
  - ・サガリバナ観賞会
- [3面]
- ・出前講座
  - ・マングロープのつぶやき
  - ・JICA 研修「観光資源 B」
  - ・団体受入 (CSR)
- [4面]
- ・活動実績
  - ・活動予定
  - ・イベント出展アルバム
  - ・お知らせ



パ rintニアちゃん ©OEC2023

トックリキワタ  
別名：南米ざくら  
南米原産。  
戦後ポリビアから導入された木が那覇市おもろまちにあるよ。

## トピック① 子どもの居場所× OEC

OEC は、子どもゆめ基金助成金活動 (自然体験活動) として、6月 から 10 月にかけて「自然であそぼ！水辺の自然体験教室」と題し全 4 回のプログラムを実施した。

普段 OEC のプログラムへの参加機会が少ない子どもたちにも体験機会を提供することを目的としたもので、新しい試みである。参加の呼びかけやプログラムの進行など手探りで実施となったが、子どもの居場所運営事業者のご協力もあり、無事に全てのプログラムを実施することができた。

リピーター参加も多く、子どもたちは初対面でも仲良く遊んでいた。良い自然体験の機会を提供できたのではないかなと思う。

一方で、より参加

しやすい環境づくりの必要もあり、今後は関係者と相談しながら改善を図っていく。

まずは、今年度の活動にご参加いただいた皆様、プログラム実施に協力いただいた皆様に心からの感謝の意をお伝えしたい。

(研究員 金城明子)



漫湖の干潟に出て生き物観察

## トピック② OEC の SDGs 活動メニュー

持続可能な開発目標 (SDGs) への取り組みは行政や学校、企業など社会のあらゆる場所で推し進められているが、17 個ある目標の関係性は横並びではない。下の図のように生物圏 (BIOSPHERE)、社会圏 (SOCIETY)、経済圏 (ECONOMY) の階層構造になっ

ていて、下の階層がなければその上の階層は成り立たないという考え方である。

OEC が取り組む国場川ごみゼロ作戦 (目標 14 海の豊かさを守ろう)、水辺の緑化活動 (目標 15 陸の豊かさを守ろう) や、地域による水環境保全の推

進 (目標 6 安全な水とトイレを世界中に) は、まさにこの階層の土台を支える生物圏の目標達成に貢献する活動と言える。

そして、OEC の環境学習プログラム提供事業では環境学習と環境保全の実践機会を提供しており、これ

は持続可能な社会をつくるために必要な知識・技術を身につけることにつながる (目標 4 質の高い教育をみんなに)。

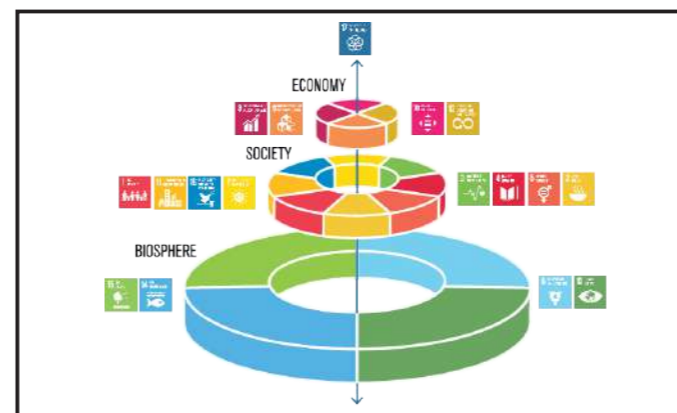


緑化活動の様子

OEC の活動は、すべて SDGs 達成につながっている。そして、皆様の SDGs 活動として参加・利用いただくことができ、それにより効果を高めることができる (目標 17 パートナリシップで目標を達成しよう)。

SDGs 達成に向けて協力して活動しませんか？

(事務局長 立田亜由美)



SDGs ウェディングケーキモデル (出展：The SDGs wedding cake\_Stockholm Resilience Centre)



### トピック③ 身近な自然体験プログラム 企画からおまかせください



近くの公園の植物を遊びで学ぶ

近年世界自然遺産として登録された沖縄本島北部の「ヤンバル」は自然豊かな山が多くあり様々な動植物が見られるということもあり、自然体験の場としてよく知られている。ヤンバルの良さは、豊かな大自然の中での動植物とのふれ合い。しかし、皆さんの身近な自然環境の中でも、驚きと発見にあふれる体験はできる。

OECでは身近な自然を活用し、楽しくしっかり学ぶ体験プログラムの企画・実施の相談を承っている。「遠出するのが難しい」「近くの公園を活用したい」という方は必見。普段見慣れた自然にも不思議がいっぱいあることを体験してみませんか。

(研究員 高嶺正満)



地域の川で生物調査

### トピック④ サポーターの声 インターンのエリーナさん

11月から2月上旬までインターンとして受け入れているエリーナさんは、環境マネジメントを専攻する京都大学大学院生。環境教育に興味があり、インターン受入先を探していたところOECに行き着いたとのこと。今後はOECで得た知識や経験を専攻分野の研究に活かしていくそうだ。

OECについてお伺いしたところ「もっと多くの人にOECを知ってもらい、学ぶ機会を得てほしいと心から願っている」とエリーナさん。私たちもエリーナさんからの多くの学びを期待している。(研究員 高嶺正満)



県民環境フェア会場にて

### 報告① サガリバナ観賞会

今年度のサガリバナ観賞会は、6月29日(木)に国場集落で、7月9日(日)および10日(月)には末吉公園で開催した。末吉公園では出店や獅子舞演舞のご協力もいただき、ライトアップの光に映えるサガリバナのみならず、食や文化も楽しんで

いただくことができ、2か所3日間で延べ453名の方にご来場いただいた。

地域行事として定着しつつあった首里崎山町馬場通り(瑞泉通り)での開催は、昨年剪定された木々の様子を見るため見送ったが、来年度はクラウドファンディングを活用したより長い期間のライトアップも検討しているので楽しみに!

(研究員 金城明子)



国場集落のガイドツアー



首里末吉町獅子舞保存会による演舞



JICA研修: 歴史文化資源を活用した持続可能な観光視察で勝連城址を訪問

### 報告② 出前講座

今年度も講演会やホテル視察会、大学での講話や河川のごみ調査など、多くの方々からご依頼を受けて出前講座を実施している。11月末までに8団体への講師派遣を行い400名を超える方が参加された。

ありがたいことにリピーターの方々のご依頼も多い。また、こども園等の就学前の子どもたちから長寿大学の現役シニア世代の方々まで、幅広い世代を対象にプログラムを実施していることはOECの強みでもある。

皆様が実施されるイベントへの自然

### マングロブのつばやき その23 マングロブはごみの展示場

沖縄の河口や内湾域に生育するマングロブには、岸からの投棄や流域からの「流域ごみ」、さらに湾の外から漂流してきた「海洋ごみ」などの様々なごみが帯状に散乱しており、さながら「ごみの展示場」だ。



写真1. 国場川河口の漂着ごみ



写真2. 州崎のごみ

国場川河口「漫湖」の岸には、秋と冬には北風で南岸へ、春と夏に南風で北岸へ、国場川水系の「流域ごみ」が流れ着く。30年前のごみは発泡スチロール箱やビニール・ポリ袋、たばこのフィルターが多くを占めていたが、今はペットボトルにカップ麺容器とその破片が目につく。ここのごみはほとんど全てが私たち一人一人から出た「流域ごみ」である(写真1、図1)。

本島中部うるま市州崎の人工マングロブ(幅4mで約1km)には、岸からの投棄と「流域ごみ」、そして「海洋ごみ」が混在する(写真2)。流域が

原生林の西表島船浦湾のマングロブに流れ着くのはほぼ全部が「海洋ごみ」である。

今、漂着ごみ対策として県内各地で河岸や海岸の清掃活動が盛んに行われているが、その後、活動前の状況に戻る。「ごみは元から絶たないと無くならない」と、3か所のマングロブが叫んでいるように見える。

(会長 下地邦輝)

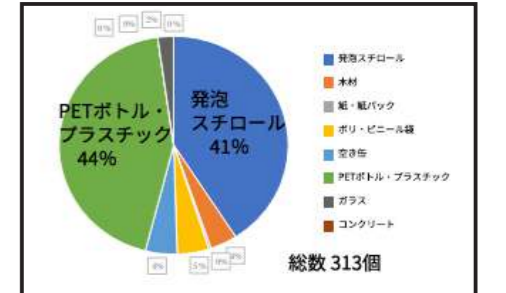


図1. 国場川北岸のごみの種類と数 (10/28)

### 報告③ JICA 研修「観光資源 B」

OECの課題別研修としては4年ぶりに研修員(12ヶ国13人)が来沖し、JICA課題別研修「持続可能な観光資源管理・開発(自然資源)(B)」を5週

間にわたり実施した。

JICA沖縄での講義や討議のほか、沖縄本島各地での視察、富士宮市でのグランピングとE-bikeツアーの体験、西表島でのエコツアー体験などを通じ、地域の方々やツアー業者、管理団体等の話を聞いた。

研修員は意識も高く、帰国後の活動に期待したい。ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました!

(副会長 石井周)



中南米からの13名がコースを修了

### 報告④ 団体受入(CSR)

OECでは6月から11月の期間に計534名に対してSDGs団体受入プログラムを実施した。

その中で、10月28日(土)に実施したCSR受入についてご紹介したい。この企業には毎年OECにご依頼いただいているが、希望に沿った内容を企画している。

今年は、昨年に引き続き「ごみ調査とクリーンアップ」と題し、河岸の漂着ごみを拾い、ごみの組成を調査するという内容だった。今年で2年目だったが、実施後、担当者から「この活動を毎年継続していきたいと願っております」とのメッセージをいただくことができ、大変嬉しく思った。

(研究員 高嶺正満)



様々なごみが漂着している



ごみは分類して個数を数える



11/8 沖縄大学での講話